

ユシロ運送株式会社 (静岡県駿東郡)

代表取締役社長 富士川 渉 様
主 管 横山 博行 様

・・・ 客観的な数値データが取れ運転者の安全意識に芽生え！！ ・・・

データ・テック社のセーフティレコーダについては、当地の同業者間で話題になっておりその存在は承知しておりましたが、「ただ知っている」という程度の認識でありました。

最近になって、(株)イフコさんがセーフティレコーダを利用した安全マネジメントの支援サービスを行っていることを営業の方から紹介を受けました。セーフティレコーダを実際に使用してみてイフコさんの提唱するセーフティレコーダを利用した安全マネジメントとはどういうものかを知りました。

運送事業者として「安全」に対しては、常に関心を寄せ、運転者に対して、年 2 回程度事例に基づいた勉強会や報奨制度(無事故表彰)を行ってきております。しかしながら、いまだ満足な結果を出すに至らず、何かいい管理の方法はないかと模索をしてきておりました。そんな矢先、イフコさんのプレゼンテーションを通して、セーフティレコーダのハードとソフトの特性、データならびに情報の内容を知り、活用を前向きに検討してみようということに至りました。イフコさんにトライアルプログラムが用意されているとのことで早速その採用を決め、クルマに搭載し、運行を開始しました。

今回セーフティレコーダを搭載し、解析した結果から車間距離が短いこと、車速が出ていること、同じ運転者が事故を起こす傾向があることがわかりました。セーフティレコーダから提供されるデータや情報で客観的な数値として実証されることがわかりました。



富士川社長(右)
と 横山主管



当社では、運転及び運行結果のデータを運転者個人にフィードバックしました。このことは、運転者自身によりいっそう自覚を持ってもらおうとの考えに基づくものであります。アウトプットされる解析データには運転者自身も興味を示して来ております。

そのような経緯のなかで、セーフティレコーダが装備されていることを意識し安全運転に気をつけるようになり、管理されているという意識も見えはじめております。反響は上々で「見られている意識」が顕著になってきております。運用を開始してそれほど時間は経ってありませんが、現時点にいては、事前に想定したことが予想通りで満足しております。

今後は全営業所でセーフティレコーダを利用した安全マネジメントの支援サービスを受けたいと思っております。

あなたの会社の運行安全教育は何段階にあるでしょうか？

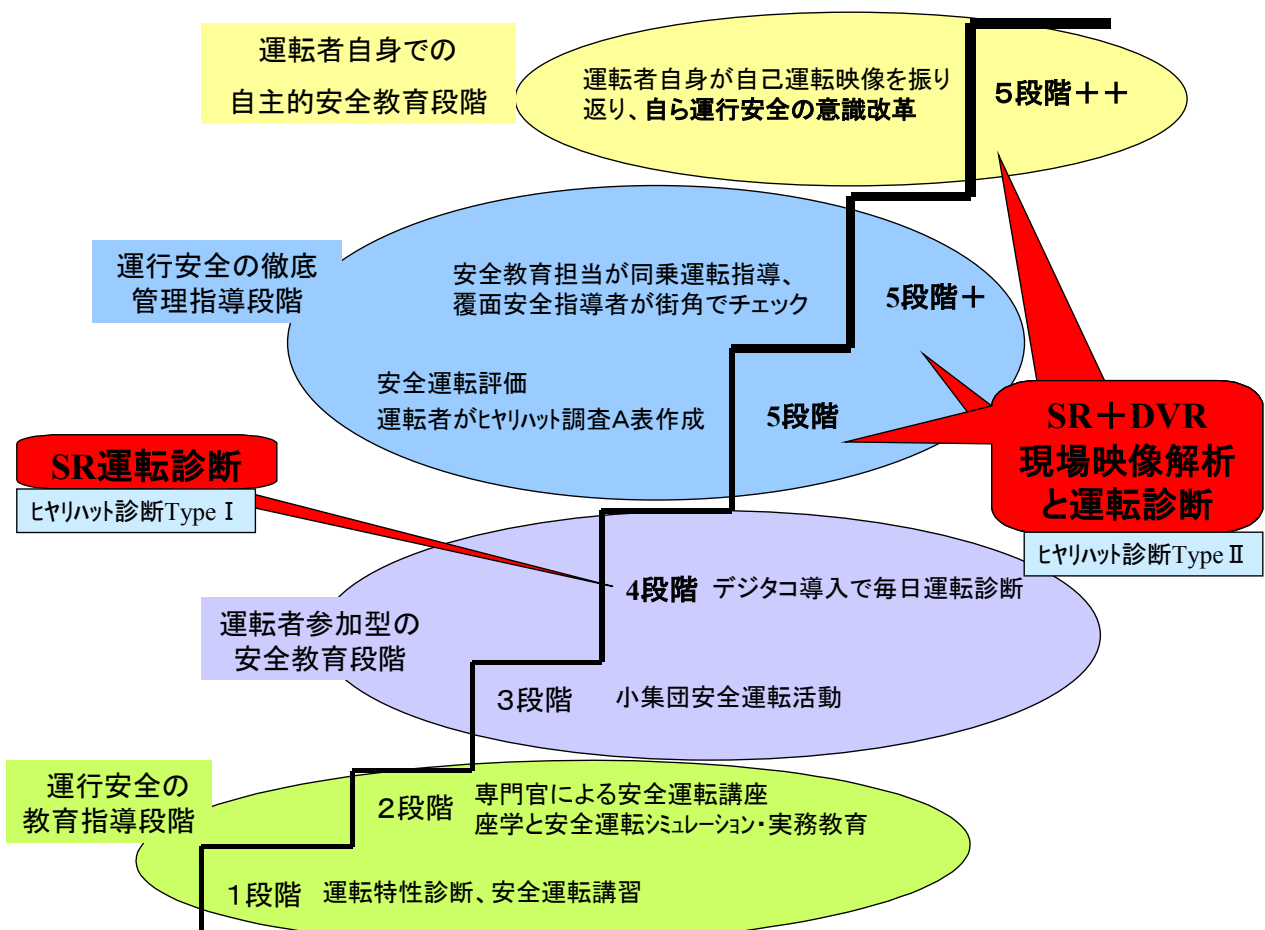
安全運転の基本的な教育指導である第1及び第2段階から、運転者自身が参画し、自分の運転体験を基に「小集団での安全活動」を行ってきた第3段階、更に運転者自身の安全運転の生データを数値化して行こうという第4段階にと、「安全運転教育指導」は進化して参りました。

そして今日、運転者が、日常どんな運転行動をとっているのか、運転生データを基に安全運転診断を行う「デジタル車載機器を搭載しての運転診断」が注目され、多くの事業者が取り入れています。SR（セフティレコーダ）による運転診断は「ヒヤリハット運転診断」を兼ねたものとなっています。

ヒヤリハット調査報告の義務付けや交差点での安全指導員によるチェックなどで、徹底した運行安全管理指導に取り組んでいる大手運送事業者は、更に第5段階、及び第5段階+に入っています。しかし、これは、「安全」に相当のコストを投入していると思われます。

そこで、最近では、多くの費用をかけないで、究極的な運行安全に取り組むには、運転者一人一人が自分の運行安全の実態を直視していくという意識改革を目指す「第5段階++」に取り組もうとする動きが始まっています。

加付付きSR（SR+DVR）を使った究極の運行安全診断（ヒヤリハット診断システム TYPE ）は、まさにこの段階にチャレンジしていただけるコストダウンを実現したツールであります。



（注）段階区分は、データテック社独自の判断基準です。



展示会のご案内 人とくるまのテクノロジー展に出展します！

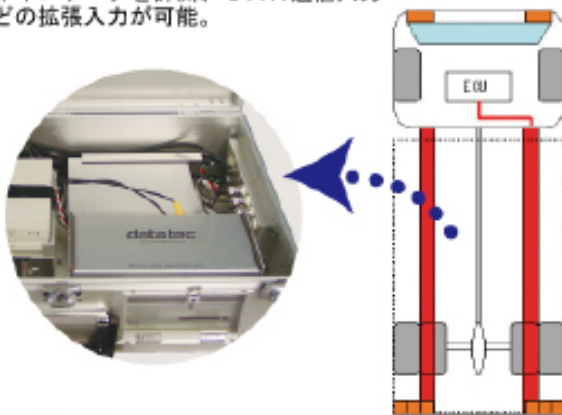
人とくるまのテクノロジー展にSR-CAN（エスアール・キャン）を展示いたします。

画像、CANデータ取込み 高機能ドライブレコーダ

SR-CAN

高機能ドライブレコーダは、車両の位置、速度、挙動および映像を同時に計測し、車両挙動と映像を解析するシステムです。

- 車両情報と映像（運転者や前方）を同時に計測。
- 加速度計、ジャイロデータを計測、CAN通信入力
- 車間距離計などの拡張入力が可能。



【SRcomm仕様】

■計測データ

- ・GPSデータ（日時・緯度・経度）
- ・加速度計（前後、左右） $\pm 2G$
- ・角速度（方位角） $\pm 60 \text{ deg/sec}$
- ・車速パルス入力
- ・デジタル入力3ch
- ・アナログ入力（0～5V）4ch
- ・CAN通信データ入力（2）

■記録方法

- ・記録周期：10Hz
- ・記録時間：イベント発生前後記録
- ・記録媒体：メモリスティック

【DVR仕様】

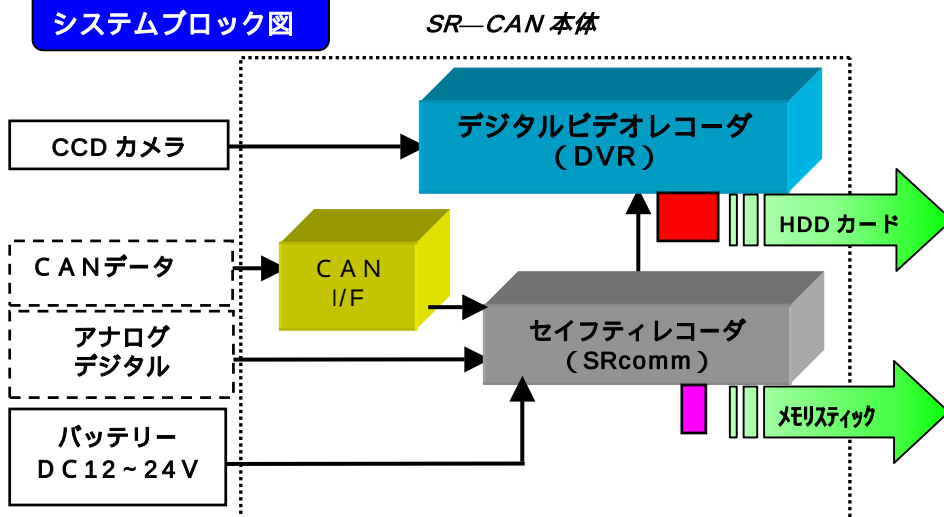
■計測データ

- ・入力映像信号：NTSC信号
- ・映像圧縮方法：JPEG規格準拠

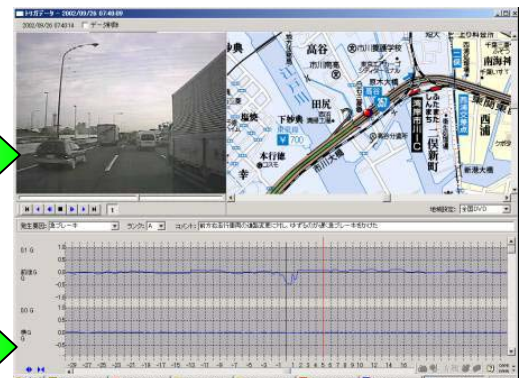
■記録方法

- ・記録周期：8～16fps
- ・記録時間：イベント発生前後記録
- ・記録媒体：HDDカード

SR-CAN システムブロック図



SR-CAN 解析ソフト



※1：CANとはController Area Networkの略称です。1989年にRobert Bosch GmbH社により開発され、ISOで国際的に標準化されたシリアル通信プロトコルです。

※2：CAN通信データを入力するためには、取得するCANデータの情報を指定のファイルに定義する必要があります。

※3：本仕様は、性能向上のために変更されることがありますので、予めご了承下さい。

開催概要

会期：2004年5月19日（水）～21日（金）10：00～17：00
会場：パシフィコ横浜（横浜国際平和会場）展示ホール
〒220-0012 横浜西区みなとみらい1-1-1
URL：<http://www.jsae.or.jp/2004expo/>

新製品・新技術紹介コーナーで プレゼンテーションを行います！！

日時：5月21日 15:15～15:45

タイトル：

セーフティレコーダを利用した
運転挙動解析

安全活動実践事例

管理者が朝 3 時に出社、 運転者とコミュニケーションを図る



社長を含め 8 人いる管理者は、交替で早朝 3 時に出社します。そして、運転者から入る連絡を待ったり、朝早くで掛ける運転者に声を掛けたりします。運転者が朝早く出るとき、会社にいるのと、いないのではぜんぜん違います。管理者も、運転者と顔を合わせることで、体調などもわかりますし、でかけるときには“ご苦労さん、気をつけて”と声をかけるだけでも、運転者は気分よく出発できると思います。(運送業)

(月刊自動車管理より転載)



下記の展示会で当社の製品が展示されます



人とくるまのテクノロジー展

パシフィコ横浜
横浜市西区

2004/5/19 ~ 2004/5/21

<http://www.jsae.or.jp/2004expo/>



国際物流総合展 2004

東京ビックサイト(東京国際展示場)
東京都江東区有明

2004/9/14 ~ 2004/9/17

<http://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/JP/>

お問合せ先

株式会社 データ・テック 担当 山田 美佳
Tel 03 (5703) 7041 E-mail sales@datatec.co.jp
<http://www.datatec.co.jp>



今年は、桜の開花も例年より早く春の到来が早いです。一方では、最新ビルでの自動回転ドアによる事故死、トラックのハブの亀裂が原因の脱輪での死亡事故、公園の回転遊具による子供の指切断と悲劇が後を絶ちません。いずれのケースも未然に防げた事故であります。結果として死亡事故、切断事故を招いてしまったと言えます。事故に至るまでに危険な予兆があったと報道されております。情報の軽視、安全意識の希薄さが真の原因であると思います。安全=予防の法則を改めて思い起こさせる事件です。軽微な予兆に常に関心を寄せるといことの大切さを知らしめております。ヒヤリハットを大切にしてください。忘れないでおきましょう。